

公表 発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
アフタースクールスマイルステーション谷町		2026年 3月 10日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・法令に従っている。 ・対人距離が一定になるよう、スペースが確保されている。	・送迎や学習の入れ替えの時間でのスペース確保の改善。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・法令に従っている。 ・余裕を持って配置されている。	・より多くの子どもに利用していただけるよう、職員配置を改善していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・利用しやすい環境となっている。 ・パーテーションで区切って刺激を減らしたり、ルールを見やすい所に掲示したりしている。 ・トイレや手洗い場などイラストでの説明をつけて、幼児にも分かりやすく説明している。 ・バリアフリーを要する利用者はいないが、ケガなど必要な場合に応じて手助けしている。	・今後も、子どもの特性に応じて環境改善に努めていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・整理整頓に努めている。 ・定期的にそうじを行っている。 ・週3回清掃を行っている。	・空気清浄機のフィルターを交換予定。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・合理的配慮に基づいて利用している。 ・子どもたちの活動に合わせて対応できるよう、時間が重ならないように調整を行っている。 ・必要に応じて個室を使用している。	・いつでも個室を使用できるように、環境を整えていく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・職朝(朝礼)にて課題の共有、進捗や振り返りを行っている。 ・職員みなで検討している。	・全職員が参画できる体制づくりを行う。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・業務改善に努めている。 ・意見を参考にしながら改善に向け話し合いを行っている。 ・毎年、年度末に行っている。	・意向をつなげていく。 ・周知方法を改善していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・月に1度、1対1の職員面談を設けている。 ・意見を出しやすい雰囲気作りがされている。 ・毎朝の職員会議にて、全職員の意見交換・状況改善に努めている。	・より意見を出しやすい雰囲気作りに努めていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・現在は行っていない。	・必要であれば要検討。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・資質向上のため、積極的に行っている。 ・防災など義務研修の他、専門分野による研修を行っている。 ・愛着障害、イメトレなど、様々なテーマの研修を行っている。 ・外部講師を招いた研修を行っている。	・職員に受けたい研修や学びたい部分を聞き取り、研修計画に反映していく。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・ホームページから誰でも見られるようになっている。	・引き続き内容の充実にも努めていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・モニタリング、送迎の際に、保護者のニーズを把握するよう心掛けている。 ・見学・体験の際に、検査結果やニーズの聞き取り、子どもの様子などをうかがっている。 ・保護者との面談を行い、ニーズや課題を丁寧に分析して作成している。	・相談支援事業所を交えた担当者会議などにも積極的に参加していきたい。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・ケース会議を開催し共通理解を図っている。 ・支援会議で意見を出し合って作成している。 ・職員みなが立場関係なく、話し合って最善の支援を検討している。	・職員への聞き取りなど、より意識や共有をしていく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・計画に沿った支援に努めている。 ・職員みなで計画を確認できるようにして、日々の支援につなげている。	・引き続き、支援の質の向上を図る。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・職員会議などで話し合っている。	・検査結果を詳しく見ることができるような研修を実施してほしい。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・アセスメント後、ガイドラインに沿って支援内容を検討している。 ・きちんと一つ一つを確認して、その児童に合った内容が設定されている。	・教室の特性上「本人支援」に偏っているが、児童の状況に合わせて「家庭支援」や「移行支援」にも力を入れていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・積極的にやっている。 ・利用者ごとにチームで検討している。	・活動プログラムが児童に合っているかどうか、常に考えたり工夫したりしながら支援していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・子どもたちの成長・発達に合わせている。 ・毎回取り組みを授業前に検討して工夫を凝らしている。	・ニーズに合わせて、固定と更新のバランスを改善していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・学習を個別で取り組んだ後、集団あそびなどの活動を取り入れている。 ・50分の個別活動の後に、10分間集団活動を行っている。 ・社会性を伸ばすために、他児とゲームやあそびで関わる時間を設けている。	・今後、必要に応じて検討する。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・情報を共有し連携して支援している。 ・毎朝、朝礼を行い、気になった点、改善点を共有記録している。 ・毎朝の職員会議にて、その日の児童について話し合っている。	・共有事項を強化する。 ・一層きめ細やかな共有や確認を徹底する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・スラックに当日の支援内容を入力している。 ・ビジネスツールの活用と口頭で報告している。 ・スラックで共有している。大きな問題等があったときは、翌日の朝礼で共有している。 ・児童の帰宅後、職員間で振り返りをしている。	・共有事項を強化する。 ・一層きめ細やかな共有や確認を徹底する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援報告書に記入し、記録している。 ・ビジネスツール、支援報告書の記録。 ・スラックに記録を残している。 ・報告書、共有アプリ等で、日々の記録をとっている。	・次の支援者に伝わりやすいよう、プリント課題に残らない児童の様子や話した内容などを記録することを心がける。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・適宜、子どもの変化や様子を話し合い、6か月ごとのモニタリングの実施後適切に見直ししている。 ・半年に1回モニタリングを行っている。 ・保護者とのモニタリングをきちんと行い、本児に適切な計画を考慮している。	今後も、モニタリングを通して保護者のニーズを聞き取り、計画に活かしていきたい。
関係機関や保護者との	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・管理者が参加している。	・サービス担当者会議に、もっと積極的に参加していきたい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・相談支援事業所と連携している。 ・通い先の保育園や病院との連携は密に行っている。	・保護者の要望に応じて連携をしていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・必要に応じて実施している。	・保護者からの要望があれば、情報共有をしていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・必要に応じて実施している。	・保護者からの要望があれば、情報共有をしていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					

連携	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○	・児童発達支援センターとの連携は、今のところ行っていない。	・機会があれば連携をしていきたい。 ・引き続きサービス向上のため進めている。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	・保護者のニーズと合っていないため、行っていない。 ・教室の特性上行っていない。	・今のところ行う予定はない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・必要に応じてフィードバックしている。 ・送迎時やモニタリング時にお話している。 ・日々、保護者と連絡共有を行っている。	・発達の状況や課題について、共通理解を持ち、支援の充実に努める。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・必要に応じて進路相談会など、保護者会を開催している。	・研修があれば、保護者に周知していく。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明を行っている。 ・事業所内に自由に読めるよう置いてある。 ・ホームページにも載せている。	・利用者負担額の変更があったときなどは、個別で連絡していく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・モニタリングの際、最善の利益を最優先するため、意向の確認をしている。 ・モニタリング前に子どもへの聞き取りを行っている。	・保護者のニーズと子どものニーズを、バランスよく計画に反映していく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・保護者の同意を得ている。 ・書面で提示し、同意を得ている。	・要望があれば、より詳しく説明できるよう、体制を整える。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・面談や電話等で行っている。 ・面談希望はいつでも受け付けている。 ・半年ごとのモニタリングに加えて、希望があれば随時行っている。	・面談、電話やLINEを活用し、相談できる場を調整する。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・2~3か月に1回のペースで保護者会を実施して保護者の交流の場としている。 ・保護者会を行い、交流する機会を設けている。	・保護者会は今後も定期的に開催していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・迅速に対応し、話し合いを重ね、再発防止に努めている。 ・職員間で共有した上で、丁寧な対応を心掛けている。	・苦情を真摯に受け止め、体制や支援の改善点として捉え、今後に活かしていく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・月に1回すまいる通信を配信している。 ・すまいる通信で行事や研修について発信している。 ・LINE等のSNSで毎月通信を送信している。	・すまいる通信をより充実させていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・書庫で保管している。 ・鍵のある書棚で保管している。 ・紙での個人情報はすべてシュレッダーにかけている。	・今後も細心の注意を払う。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・適切に伝達する工夫をしている。 ・保護者との連絡は常に職員みな目の目で確認してから伝えている。	・ご家庭によってやりやすい方法で意思の疎通や情報伝達に努める。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・教室の特性上行っていない。	・地域住民とかかわる行事などの予定は、今のところない。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・不測の事態に備えて研修を行っている。 ・入所時に説明し、児童にも随時伝えている。	・周知徹底に努める。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPを作成し共有している。 ・非常事態の導線を伝えている。	・引き続き、訓練・見直しを行う。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・入所時の契約の際に、お伺いしている。 ・入所時に書面にて記入してもらい必要に応じて確認している。	・非常時に活かせるよう、情報を更新しておく。

非常時等の対応	48	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・食事提供はないが、緊急時に備えてアレルギーを確認している。 ・アレルギーについて利用開始時に確認している。 ・食事対応をしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事提供はしていないが、非常時に活かせるよう、情報を更新しておく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・研修や訓練を行っている。 ・毎月安全点検を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周知してもらえよう準備する。 ・研修訓練を行う。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・スマイル通信等で周知に努めている。 ・送信文の準備や連携の確認など。 ・書面、口頭でお伝えしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、周知徹底に努める。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議で共有している。 ・報告書をいつでも確認できる場所に保管し、共有を行っている。 ・毎月会議をし、ヒヤリハットがなかったか振り返りを行っている。 ・日々の職員会議で話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重大な事故につながるようなヒヤリハットがないよう、気を付けていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止研修を行っている。 ・職員の研修を行い防止に努めている。 ・決められた回数の研修を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も研修を行い防止に努めていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・説明後、同意書で了承を得ている。 ・同意書を作成し、署名を頂いている。 ・利用開始時に書面にて説明し、個別支援計画にも記載している。 ・書面、口頭で説明をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も研修を行い適正化に努めていく。